



報道発表資料の配付日時 11月18日(水) 13時00分

発表項目 (行事名)	「平成29年度(2017年度)道民経済計算年報」について																																																																		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者																																																																	
		発表場所																																																																	
概要	<p>令和2年3月27日に公表した「平成29年度(2017年度)道民経済計算」に14(総合)振興局ごとの総生産等を推計した「地域編」を加え、「平成29年度(2017年度)道民経済計算年報」を作成しましたので、お知らせします。 (添付資料:「平成29年度(2017年度)道民経済計算年報の概要」)</p> <p>ポイント</p> <p>○平成29年度における道内総生産は、平成24年度を底に増加傾向。 ①道内総生産は、計算方法の見直しが行われた平成18年度以降では、今回が過去最高額。 ②一人当たりの道民所得も同様に、平成18年度以降では過去最高。ただし、全国平均に比べると、依然低い。 ※道民所得は、雇用者報酬と企業所得、財産所得の合計。 ③振興局別の総生産額は、全14振興局で前年度に比べ増加。</p> <p>1 全道の状況</p> <p>1) 平成29年度道内総生産 ・名目 19兆4,301億円 (前年比1.7%増、全国シェア3.5%) ・実質 18兆6,206億円 (前年比1.3%増、全国シェア3.5%) ※名目:各年の市場価格で評価した値。実質:名目値から価格変動分を取り除いた値。 【要因】 農業(+9.3%)や建設業(+6.1%)の生産額の増加が全体の増加に寄与。</p> <p>2) 道民所得 ・1人当たりの道民所得 268万2千円 (前年比3.2%増) 【要因】 雇用者報酬、企業所得ともに増加し、全体の増加に寄与。 【参考】 1人当たりの国民所得 316万4千円(道民所得に比べ+48万2千円多い) 前年度より縮小しているものの、全国とは依然大きな格差。</p> <p>2 振興局別の生産額</p> <p>前年8月に発生した一連の大雨・台風被害が広範囲にわたったことから、災害復旧工事の本格実施(建設業)や、畑作物生産額の前年からの反動増(農林水産業)が主な要因となり、全振興局の生産額が前年比プラスとなった。 (特に、日高や十勝が大きくプラスとなった。)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>順位</th> <th>振興局名</th> <th>生産額(億円)</th> <th>前年比</th> <th>順位</th> <th>振興局名</th> <th>生産額(億円)</th> <th>前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>石狩</td> <td>86,747</td> <td>+1.9</td> <td>8</td> <td>釧路</td> <td>8,431</td> <td>+0.4</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>胆振</td> <td>16,687</td> <td>+0.8</td> <td>9</td> <td>後志</td> <td>7,085</td> <td>+1.6</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>上川</td> <td>16,394</td> <td>+1.3</td> <td>10</td> <td>根室</td> <td>3,848</td> <td>+0.3</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>十勝</td> <td>13,444</td> <td>+3.2</td> <td>11</td> <td>宗谷</td> <td>2,909</td> <td>+0.9</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>渡島</td> <td>12,867</td> <td>+1.8</td> <td>12</td> <td>日高</td> <td>2,573</td> <td>+5.2</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>林-つ</td> <td>10,931</td> <td>+0.1</td> <td>13</td> <td>留萌</td> <td>1,674</td> <td>+1.3</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>空知</td> <td>9,512</td> <td>+2.9</td> <td>14</td> <td>檜山</td> <td>1,199</td> <td>+1.8</td> </tr> </tbody> </table>			順位	振興局名	生産額(億円)	前年比	順位	振興局名	生産額(億円)	前年比	1	石狩	86,747	+1.9	8	釧路	8,431	+0.4	2	胆振	16,687	+0.8	9	後志	7,085	+1.6	3	上川	16,394	+1.3	10	根室	3,848	+0.3	4	十勝	13,444	+3.2	11	宗谷	2,909	+0.9	5	渡島	12,867	+1.8	12	日高	2,573	+5.2	6	林-つ	10,931	+0.1	13	留萌	1,674	+1.3	7	空知	9,512	+2.9	14	檜山	1,199	+1.8
順位	振興局名	生産額(億円)	前年比	順位	振興局名	生産額(億円)	前年比																																																												
1	石狩	86,747	+1.9	8	釧路	8,431	+0.4																																																												
2	胆振	16,687	+0.8	9	後志	7,085	+1.6																																																												
3	上川	16,394	+1.3	10	根室	3,848	+0.3																																																												
4	十勝	13,444	+3.2	11	宗谷	2,909	+0.9																																																												
5	渡島	12,867	+1.8	12	日高	2,573	+5.2																																																												
6	林-つ	10,931	+0.1	13	留萌	1,674	+1.3																																																												
7	空知	9,512	+2.9	14	檜山	1,199	+1.8																																																												
参 考	統計表等につきましては、下記ホームページでご覧いただけます。 http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kks/ksk/tgs/keisan.htm																																																																		

報道(取材)に当たってのお願い

他のクラブ
との関係同時配付
同時レク

(場所) 経済記者クラブ

担 当
(連絡先)経済部経済企画局経済企画課経済分析係 担当者:佐々木、竹内、宮森
TEL ダイヤル 011-204-5140 (内線26-926)

平成 29 年度(2017 年度)道民経済計算年報の概要

令和 2 年(2020 年)11 月
北海道経済部経済企画局経済企画課

1 生産

(1) 道内総生産(生産側)

道内総生産 名目 19 兆 4,301 億円(対前年度 3,228 億円増)
実質 18 兆 6,206 億円(同 2,451 億円増)
経済成長率 名目 +1.7% 実質 +1.3%

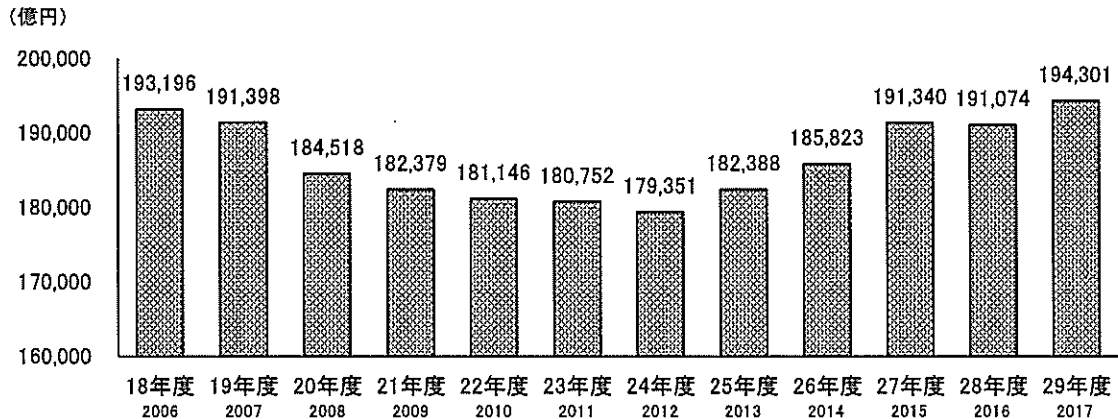
- 平成 29 年度の道内総生産(名目)は、卸売・小売業(寄与度▲0.2%)などが減少したが、建設業(同+0.4%)、農林水産業(同+0.3%)などが増加したことから合計で 19 兆 4,301 億円となった。
- 道内総生産(名目)の対前年度増加率は、2 年ぶりのプラスとなる 1.7% 増となった。

道(国)内総生産(生産側・名目)

項目	北海道						全国					
	実数		増加率		増加寄与度		実数		増加率		増加寄与度	
	28年度 2016	29年度 2017	28年度 2016	29年度 2017	28年度 2016	29年度 2017	28暦年 2016	29暦年 2017	28暦年 2016	29暦年 2017	28暦年 2016	29暦年 2017
1. 農林水産業	8,476	9,101	1.8	7.4	0.1	0.3	64,980	66,165	9.8	1.8	0.1	0.0
(1) 農業	6,357	6,947	4.7	9.3	0.1	0.3	54,799	55,791	11.6	1.8	0.1	0.0
(2) 林業	245	250	0.7	2.2	0.0	0.0	2,108	2,145	2.6	1.8	0.0	0.0
(3) 水産業	1,874	1,904	-6.8	1.6	-0.1	0.0	8,073	8,229	0.4	1.9	0.0	0.0
2. 鉱業	213	225	-14.4	5.3	-0.0	0.0	2,865	3,004	-9.2	4.9	-0.0	0.0
3. 製造業	19,234	19,010	-6.1	-1.2	-0.6	-0.1	1,110,107	1,134,798	0.4	2.2	0.1	0.5
4. 電気・ガス・水道・廃棄物処理業	6,024	6,356	-0.7	5.5	-0.0	0.2	139,537	142,807	0.2	2.3	0.0	0.1
5. 建設業	14,125	14,985	5.6	6.1	0.4	0.4	299,215	311,365	1.9	4.1	0.1	0.2
6. 卸売・小売業	24,283	23,984	-0.7	-1.2	-0.1	-0.2	740,506	759,033	-0.3	2.5	-0.0	0.3
7. 運輸・郵便業	14,037	14,439	-2.1	2.9	-0.2	0.2	270,099	277,275	-0.5	2.7	-0.0	0.1
8. 宿泊・飲食サービス業	5,367	5,489	10.7	2.3	0.3	0.1	136,742	141,765	10.2	3.7	0.2	0.1
9. 情報通信業	6,983	6,914	0.2	-1.0	0.0	-0.0	268,805	265,603	0.6	-1.2	0.0	-0.1
10. 金融・保険業	6,384	6,496	-6.8	1.8	-0.2	0.1	223,348	225,299	-3.8	0.9	-0.2	0.0
11. 不動産業	20,946	20,997	0.3	0.2	0.0	0.0	611,693	617,846	0.9	1.0	0.1	0.1
12. 専門・科学技術・業務支援サービス業	14,456	14,662	4.6	1.4	0.3	0.1	398,866	401,536	3.9	0.7	0.3	0.0
13. 公務	13,714	13,910	0.4	1.4	0.0	0.1	266,964	268,449	0.5	0.6	0.0	0.0
14. 教育	8,317	8,347	0.6	0.4	0.0	0.0	193,969	195,443	1.0	0.8	0.0	0.0
15. 保健衛生・社会事業	18,954	19,141	1.4	1.0	0.1	0.1	377,623	380,531	4.1	0.8	0.3	0.1
16. その他のサービス	8,312	8,610	-2.1	3.6	-0.1	0.2	229,177	232,873	-2.0	1.6	-0.1	0.1
17. 小計	189,825	192,666	0.0	1.5	0.0	1.5	5,334,497	5,423,789	1.0	1.7	1.0	1.7
18. 輸入品に課される税・関税等	2,734	3,046	-13.1	11.4	-0.2	0.2	77,666	95,335	-11.5	22.7	-0.2	0.3
19. (控除)総資本形成に係る消費税	1,485	1,411	-5.3	-5.0	0.0	0.0	56,791	60,152	-1.1	5.9	-0.0	0.1
20. 道(国)内総生産(17+18-19)	191,074	194,301	-0.1	1.7	-0.1	1.7	5,355,372	5,458,974	0.8	1.9	0.8	1.9

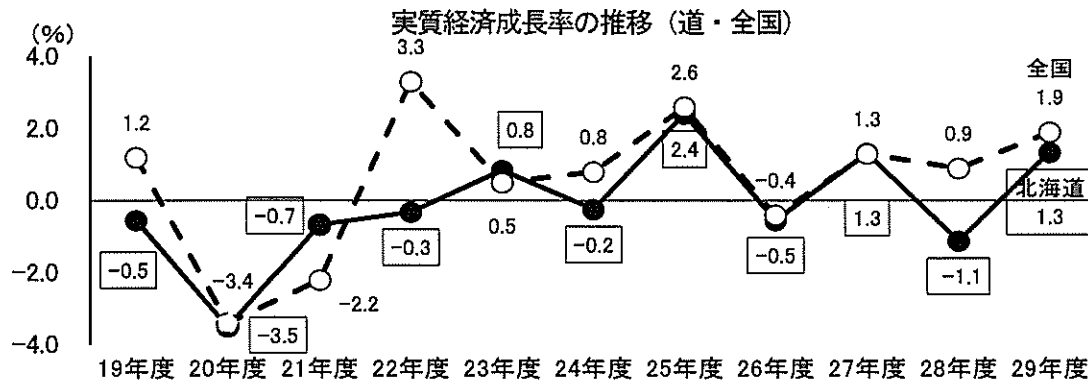
- (注) 1 全国は、内閣府「平成 30 年度国民経済計算年報」による。(以下、各図表同様)
2 輸入品に課される税・関税等=輸入品に課される税・関税+統計上の不突合
3 増加寄与度=(経済活動別の当該年度総生産-前年度総生産)÷前年度道内総生産(合計)×100
4 四捨五入の関係で、内訳項目の合計が合計項目の計数と一致しない場合がある。

道内総生産(名目)の推移



(2) 実質経済成長率の推移

- 平成29年度の実質経済成長率（道内総生産（実質）の対前年度増加率）は、2年ぶりのプラスとなる1.3%増となった。

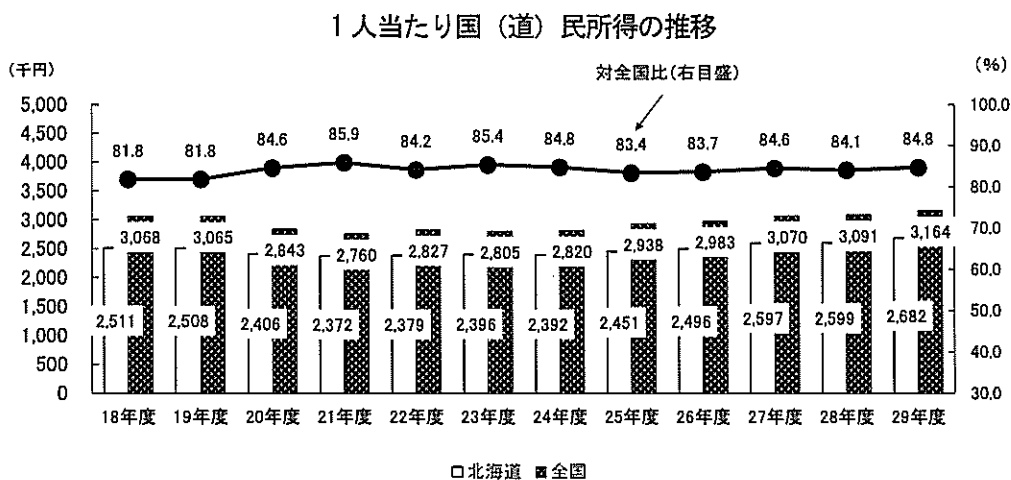


(注) 実質は連鎖方式による。

2 分配

道民所得 14兆2,696億円（対前年度3,589億円、2.6%増）
 1人当たり道民所得 268万2千円（対前年度8万3千円、3.2%増）

- 道民所得は、雇用者報酬（10兆467億円）が2.9%、財産所得（5,940億円）は4.3%、企業所得（3兆6,288億円）は1.5%それぞれ増加し、合計で14兆2,696億円、対前年度2.6%の増加となった。
- 1人当たり道民所得は、平成28年度（259万9千円）から8万3千円増加し268万2千円となり、全国（316万4千円）との差額は平成28年度の49万2千円から48万2千円に縮小した。



(注) 1人当たり道民所得＝道民所得÷総人口（総人口は総務省「人口推計」による）

(単位:千円、%)

項目	18年度 2006	19年度 2007	20年度 2008	21年度 2009	22年度 2010	23年度 2011	24年度 2012	25年度 2013	26年度 2014	27年度 2015	28年度 2016	29年度 2017
北海道	2,511	2,508	2,406	2,372	2,379	2,396	2,392	2,451	2,496	2,597	2,599	2,682
増加率	-	-0.1	-4.1	-1.4	0.3	0.7	-0.2	2.5	1.8	4.0	0.1	3.2
全国	3,068	3,065	2,843	2,760	2,827	2,805	2,820	2,938	2,983	3,070	3,091	3,164
全国差	-557	-557	-437	-388	-448	-409	-428	-487	-487	-473	-492	-482
全国比	81.8	81.8	84.6	85.9	84.2	85.4	84.8	83.4	83.7	84.6	84.1	84.8

3 支出

(1) 道内総生産（支出側）

- ・ 平成29年度の道内総生産を支出項目別にみると、民間最終消費支出が対前年度1.0%、政府最終消費支出が1.8%それぞれ増加となった。
- ・ 総固定資本形成は、公的が対前年度3.1%増加したが、民間が4.2%減少し、全体で1.3%の減少となった。
- ・ 財貨・サービスの移出入は、移入超過額が2兆4,306億円で、前年度に比べ327億円(1.3%)減少した。

道（国）内総生産（支出側）（名目）

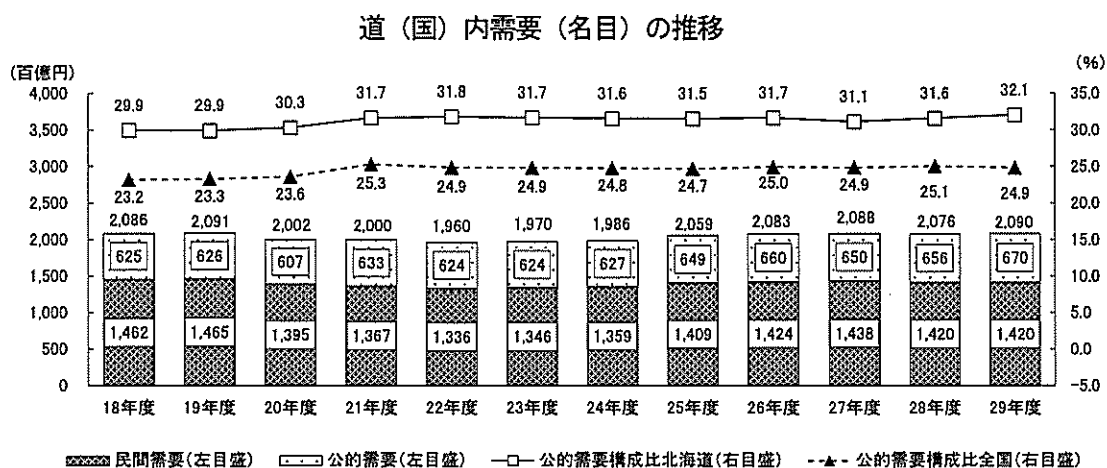
（単位：億円、%）

項 目	北海道				全国			
	実数		増加率	構成比	実数		増加率	構成比
	28年度 2016	29年度 2017			28年度 2016	29年度 2017		
1. 民間最終消費支出	119,603	120,780	1.0	62.2	2,988,883	3,032,603	1.5	55.4
(1) 家計最終消費支出	116,873	118,062	1.0	60.8	2,909,719	2,953,107	1.5	53.9
(2) 対家計民間非営利団体最終消費支出	2,730	2,718	-0.4	1.4	79,164	79,496	0.4	1.5
2. 政府最終消費支出	50,425	51,332	1.8	26.4	1,064,164	1,074,195	0.9	19.6
3. 総資本形成	37,598	36,914	-1.8	19.0	1,261,659	1,319,702	4.6	24.1
(1) 総固定資本形成	38,234	37,730	-1.3	19.4	1,258,025	1,305,741	3.8	23.8
a 民間	23,017	22,040	-4.2	11.3	988,489	1,030,082	4.2	18.8
(a) 住宅	5,606	5,876	4.8	3.0	170,369	170,912	0.3	3.1
(b) 企業設備	17,411	16,164	-7.2	8.3	818,120	859,170	5.0	15.7
b 公的	15,217	15,690	3.1	8.1	269,536	275,659	2.3	5.0
(a) 住宅	513	559	9.1	0.3	7,847	6,262	-20.2	0.1
(b) 企業設備	2,895	2,656	-8.2	1.4	65,086	67,180	3.2	1.2
(c) 一般政府	11,809	12,474	5.6	6.4	196,603	202,216	2.9	3.7
(2) 在庫変動	-636	-816	-28.3	-0.4	3,634	13,961	-	0.3
a 民間企業	-638	-805	-26.2	-0.4	4,400	13,229	-	0.2
b 公的(公的企業・一般政府)	2	-10	-614.2	-0.0	-766	732	-	0.0
4. 財貨・サービスの移出入(純)・統計上の不突合	-16,552	-14,724	11.0	-7.6	53,801	49,360	-	0.9
(1) 財貨・サービスの移出入(純)	-24,633	-24,306	1.3	-12.5	53,801	49,360	-	0.9
(2) 統計上の不突合	8,081	9,582	18.6	4.9	-	-	-	-
5. 道(国)内総生産(支出側)(1+2+3+4)	191,074	194,301	1.7	100.0	5,368,508	5,475,860	2.0	100.0
(参考) 民間需要	141,982	142,014	0.0	67.9	3,981,772	4,075,914	2.4	75.1
公的需要	65,643	67,012	2.1	32.1	1,332,934	1,350,586	1.3	24.9
道(国)内需要	207,625	209,026	0.7	100.0	5,314,706	5,426,500	2.1	100.0
国民経済計算(実質:連鎖)	-	-	-	-	5,220,004	5,320,204	1.9	-

- (注) 1 民間需要＝民間最終消費支出＋民間総固定資本形成＋民間在庫変動
 公的需要＝政府最終消費支出＋公的総固定資本形成＋公的在庫変動
 道内需要＝民間需要＋公的需要
 2 四捨五入の関係で、内訳項目の合計が合計項目の計数と一致しない場合がある。

(2) 道内需要の推移

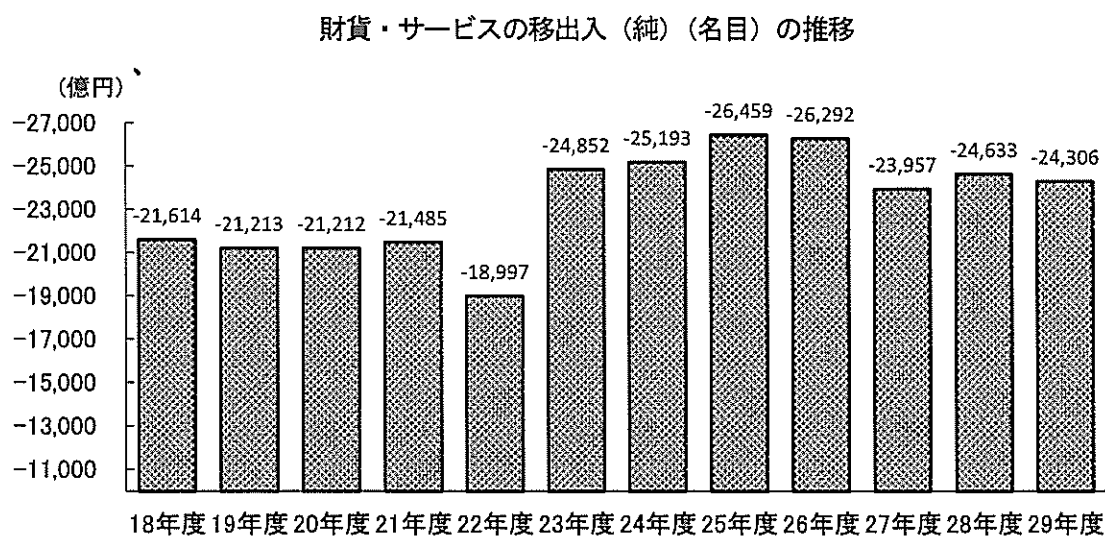
- ・ 道内需要の推移をみると、平成19年度以降は減少傾向で推移していたが、平成23年度から増加に転じ、平成28年度に減少したが、平成29年度に再び増加した。
- ・ 平成29年度の道内需要に占める公的需要の割合は32.1%で、全国の24.9%に比べ7.2ポイント高くなっている。



(注) 公的需要構成比=公的需要÷道内需要×100

(3) 財貨・サービスの移出入

- ・ 平成29年度の移出入は移入超過額が2兆4,306億円で、前年度と比べ327億円、1.3%減となった。



(単位: 億円、%)

項目	18年度 2006	19年度 2007	20年度 2008	21年度 2009	22年度 2010	23年度 2011	24年度 2012	25年度 2013	26年度 2014	27年度 2015	28年度 2016	29年度 2017
財貨・サービスの移出入(純)	-21,614	-21,213	-21,212	-21,485	-18,997	-24,852	-25,193	-26,459	-26,292	-23,957	-24,633	-24,306
増減率	-	1.9	0.0	-1.3	11.6	-30.8	-1.4	-5.0	0.6	8.9	-2.8	1.3

4 地域

(1) 振興局別総生産（名目）

① 総生産

平成 29 年度の振興局別総生産は、石狩が 8 兆 6,747 億円で全体の 44.6% を占め、次いで胆振 1 兆 6,687 億円（同 8.6%）、上川 1 兆 6,394 億円（同 8.4%）、十勝 1 兆 3,444 億円（同 6.9%）、渡島 1 兆 2,867 億円（同 6.6%）となっており、上位 5 振興局で 14 兆 6,139 億円、全体の 75.2% を占めた。

② 対前年度増加率

平成 29 年度総生産の対前年度増加率は、渡島（1.8%）、後志（1.6%）、上川（1.3%）、胆振（0.8%）、釧路（0.4%）がプラスに転じた。

また、日高（5.2%）、十勝（3.2%）、空知（2.9%）、石狩（1.9%）、檜山（1.8%）、留萌（1.3%）、宗谷（0.9%）、根室（0.3%）、オホーツク（0.1%）、が前年度に引き続きプラスとなり、全振興局でプラスとなった。

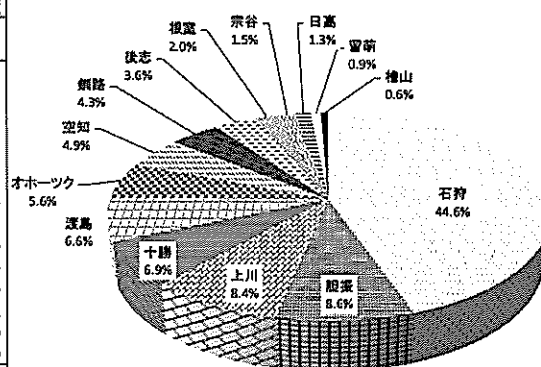
振興局別総生産

（単位：億円、%）

振興局	実 数					29年度 (2017) 構成比	対前年度増加率		対前年度増加寄与度	
	25年度 2013	26年度 2014	27年度 2015	28年度 2016	29年度 2017		28年度 2016	29年度 2017	28年度 2016	29年度 2017
空知	9,262	9,231	9,225	9,247	9,512	4.9	0.2	2.9	0.0	0.1
石狩	80,522	82,186	84,284	85,120	86,747	44.6	1.0	1.9	0.4	0.9
後志	6,569	6,815	6,980	6,972	7,085	3.6	-0.1	1.6	-0.0	0.1
胆振	15,760	16,245	18,054	16,560	16,687	8.6	-6.3	0.8	-0.8	0.1
日高	2,263	2,354	2,377	2,447	2,573	1.3	2.9	5.2	0.0	0.1
渡島	12,346	12,571	12,856	12,644	12,867	6.6	-1.6	1.8	-0.1	0.1
檜山	1,173	1,192	1,172	1,178	1,199	0.6	0.5	1.8	0.0	0.0
上川	15,854	16,041	16,239	16,186	16,394	8.4	-0.3	1.3	-0.0	0.1
留萌	1,582	1,642	1,651	1,653	1,674	0.9	0.1	1.3	0.0	0.0
宗谷	2,710	2,812	2,810	2,885	2,909	1.5	2.7	0.9	0.0	0.0
オホーツク	10,384	10,275	10,516	10,921	10,931	5.6	3.9	0.1	0.2	0.0
十勝	12,331	12,551	12,936	13,026	13,444	6.9	0.7	3.2	0.0	0.2
釧路	8,191	8,339	8,538	8,400	8,431	4.3	-1.6	0.4	-0.1	0.0
根室	3,442	3,569	3,704	3,835	3,848	2.0	3.5	0.3	0.1	0.0
全道	182,388	185,823	191,340	191,074	194,301	100.0	-0.1	1.7	-0.1	1.7

振興局別総生産のシェア

（単位：%）



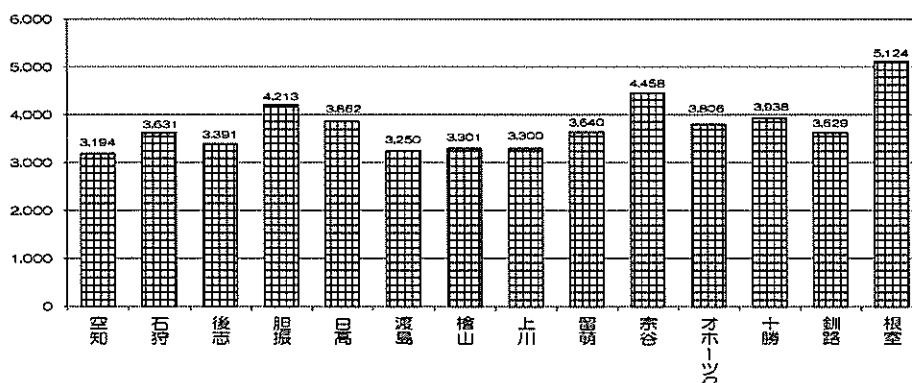
(注) 1 対前年度増加寄与度 = (振興局の当年度総生産 - 前年度総生産) ÷ 全道の前年度総生産 × 100 (以下、各表同様)

2 四捨五入の関係で、内訳項目の合計が合計項目の係数と一致しない場合がある。(以下、各図表同様)

③ 1人当たり総生産

平成 29 年度の 1 人当たり総生産は、根室が 5,124 千円と最も高く、次いで宗谷 4,458 千円、胆振 4,213 千円、十勝 3,938 千円、日高 3,862 千円となった。

振興局別の 1 人当たり総生産



(注) 1 1 人当たり総生産 = 振興局の総生産 ÷ 振興局の人口

2 振興局の人口は、総務省「国勢調査」により補間推計の上、全道値（人口推計）とのギャップを修正。

(2) 経済活動別総生産

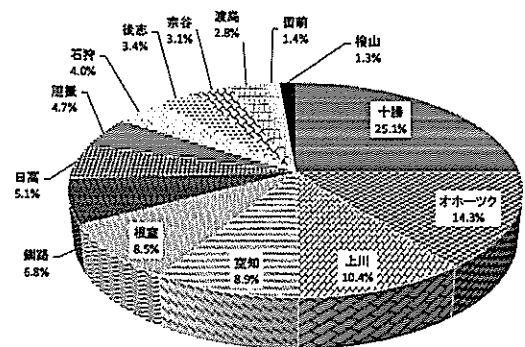
① 農業

- 農業の振興局別総生産をみると、十勝が1,745億円で最も多く、全体の25.1%を占め、次いでオホーツク992億円、上川726億円、空知622億円、根室591億円と上位5振興局で4,676億円、全道の67.3%を占めた。
- 農業総生産の全道増加率(9.3%)に対する寄与度をみると、十勝(3.9%)が最も大きく、次いで空知(1.3%)、根室(0.9%)など全振興局がプラスとなった。

農業の振興局別総生産 (単位:億円、%)

振興局	実 数					29年度 (2017) 構成比	対前年度増加率		対前年度増加寄与度	
	25年度 2013	26年度 2014	27年度 2015	28年度 2016	29年度 2017		28年度 2016	29年度 2017	28年度 2016	29年度 2017
空知	500	497	539	537	622	8.9	-0.5	15.8	-0.0	1.3
石狩	224	223	257	254	276	4.0	-1.3	8.6	-0.1	0.3
後志	198	186	207	234	237	3.4	12.8	1.4	0.4	0.1
胆振	254	273	291	312	327	4.7	7.2	5.0	0.3	0.2
日高	232	252	289	319	357	5.1	10.5	11.9	0.5	0.6
渡島	152	158	172	185	192	2.8	7.9	3.7	0.2	0.1
檜山	75	76	81	87	94	1.3	6.7	8.1	0.1	0.1
上川	611	595	666	678	726	10.4	1.7	7.1	0.2	0.8
留萌	81	81	87	97	100	1.4	10.4	3.5	0.2	0.1
宗谷	157	168	190	204	217	3.1	7.8	5.9	0.2	0.2
オホーツク	722	828	929	981	992	14.3	5.5	1.1	0.8	0.2
十勝	1,236	1,278	1,475	1,498	1,745	25.1	1.6	16.5	0.4	3.9
釧路	317	333	395	437	472	6.8	10.5	8.0	0.7	0.5
根室	409	432	492	536	591	8.5	8.8	10.4	0.7	0.9
全道	5,199	5,382	6,072	6,357	6,947	100.0	4.7	9.3	4.7	9.3

農業の振興局別総生産の全道シェア(単位:%)



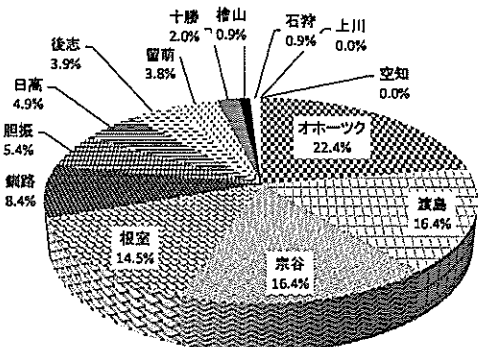
② 水産業

- 水産業の振興局別総生産をみると、オホーツクが426億円で最も多く、全体の22.4%を占め、次いで渡島313億円、宗谷312億円、根室276億円、釧路159億円と上位5振興局で1,486億円、全道の78.0%を占めた。
- 水産業総生産の全道増加率(1.6%)に対する寄与度をみると、オホーツク(2.7%)、宗谷(1.0%)、留萌(0.8%)などがプラスとなり、渡島(▲2.2%)、根室(▲1.6%)などがマイナスとなった。

水産業の振興局別総生産 (単位:億円、%)

振興局	実 数					29年度 (2017) 構成比	対前年度増加率		対前年度増加寄与度	
	25年度 2013	26年度 2014	27年度 2015	28年度 2016	29年度 2017		28年度 2016	29年度 2017	28年度 2016	29年度 2017
空知	0	0	0	0	0	0.0	-25.0	-66.7	-0.0	-0.0
石狩	9	8	12	12	18	0.9	-0.4	51.1	-0.0	0.3
後志	52	59	60	61	75	3.9	1.0	22.8	0.0	0.7
胆振	82	98	121	102	104	5.4	-15.6	1.8	-0.9	0.1
日高	82	95	109	93	93	4.9	-15.3	0.4	-0.8	0.0
渡島	306	332	401	354	313	16.4	-11.7	-11.6	-2.3	-2.2
檜山	20	20	17	20	18	0.9	14.9	-9.4	0.1	-0.1
上川	0	0	0	0	0	0.0	0.0	7.1	-16.7	0.0
留萌	40	44	51	57	73	3.8	12.7	27.1	0.3	0.8
宗谷	247	290	252	294	312	16.4	16.5	6.5	2.1	1.0
オホーツク	433	390	404	375	426	22.4	-7.0	13.6	-1.4	2.7
十勝	39	48	50	40	38	2.0	-20.8	-5.7	-0.5	-0.1
釧路	149	185	184	161	159	8.4	-12.5	-1.2	-1.1	-0.1
根室	314	313	349	306	276	14.5	-12.4	-9.9	-2.1	-1.6
全道	1,773	1,982	2,010	1,874	1,904	100.0	-6.8	1.6	-6.8	1.6

水産業の振興局別総生産の全道シェア(単位:%)



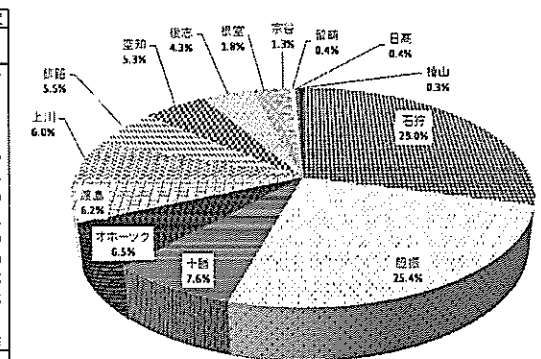
③ 製造業

- 製造業の振興局別総生産をみると、石狩が5,510億円で、全体の29.0%を占め、次いで胆振が4,829億円、25.4%となっており、合わせて全体の54.4%を占めた。
- 製造業総生産の全道増加率(▲1.2%)に対する寄与度をみると、渡島(0.4%)、上川(0.2%)などがプラスとなったものの、オホーツク(▲0.5%)、十勝(▲0.5%)などがマイナスとなった。

製造業の振興局別総生産 (単位:億円、%)

振興局	実 数					29年度 (2017) 構成比	対前年度増加率		対前年度増加寄与度	
	25年度 2013	26年度 2014	27年度 2015	28年度 2016	29年度 2017		28年度 2016	29年度 2017	28年度 2016	29年度 2017
空知	960	951	1,001	1,008	999	5.3	0.7	-0.9	0.0	-0.0
石狩	4,704	4,998	5,440	5,577	5,510	29.0	2.5	-1.2	0.7	-0.3
後志	658	738	901	798	812	4.3	-11.5	1.7	-0.5	0.1
胆振	4,380	4,589	6,162	4,815	4,829	25.4	-21.9	0.3	-6.6	0.1
日高	87	89	93	77	78	0.4	-17.2	1.3	-0.1	0.0
渡島	1,045	1,077	1,168	1,110	1,179	6.2	-5.0	6.2	-0.3	0.4
檜山	47	50	48	47	48	0.3	-2.5	1.5	-0.0	0.0
上川	944	1,025	1,095	1,104	1,150	6.0	0.9	4.1	0.0	0.2
留萌	58	96	113	81	80	0.4	-28.5	-0.7	-0.2	-0.0
宗谷	264	249	247	255	251	1.3	3.4	-1.5	0.0	-0.0
オホーツク	1,073	842	982	1,335	1,233	6.5	35.0	-7.7	1.7	-0.5
十勝	1,225	1,332	1,612	1,538	1,441	7.6	-4.6	-6.3	-0.4	-0.5
釧路	1,051	1,050	1,236	1,078	1,054	5.5	-12.8	-2.2	-0.8	-0.1
根室	335	335	376	411	348	1.8	9.3	-15.4	0.2	-0.3
全道	16,832	17,420	20,473	19,234	19,010	100.0	-6.1	-1.2	-6.1	-1.2

製造業の振興局別総生産の全道シェア(単位:%)



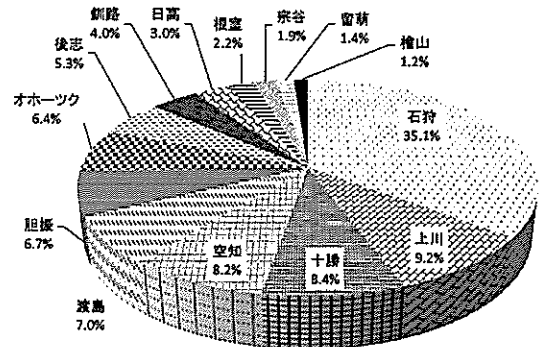
④ 建設業

- 建設業の振興局別総生産をみると、石狩が5,254億円以最も多く、全体の35.1%を占め、次いで上川1,382億円、十勝1,258億円、空知1,231億円、渡島1,042億円と上位5振興局で1兆167億円、全体の67.8%を占めた。
- 建設業総生産の全道増加率(6.1%)に対する寄与度をみると、石狩(3.0%)、十勝(1.2%)、空知(1.1%)などがプラスとなり、胆振(▲0.4%)などがマイナスとなった。

建設業の振興局別総生産 (単位:億円、%)

振興局	実数					29年度 (2017) 構成比	対前年度増加率		対前年度増加寄与度	
	25年度 2013	26年度 2014	27年度 2015	28年度 2016	29年度 2017		28年度 2016	29年度 2017	28年度 2016	29年度 2017
空知	1,072	1,073	966	1,078	1,231	8.2	11.6	14.2	0.8	1.1
石狩	4,548	4,818	4,715	4,833	5,254	35.1	2.5	8.7	0.9	3.0
後志	562	690	646	748	795	5.3	15.8	6.3	0.8	0.3
胆振	947	998	1,041	1,064	1,009	6.7	2.2	-5.1	0.2	-0.4
日高	303	341	299	375	444	3.0	25.4	18.3	0.6	0.5
渡島	995	1,054	1,020	937	1,042	7.0	-8.2	11.2	-0.6	0.7
檜山	181	184	170	172	177	1.2	0.8	3.3	0.0	0.0
上川	1,339	1,397	1,357	1,345	1,382	9.2	-0.9	2.8	-0.1	0.3
留萌	233	247	221	234	217	1.4	5.7	-7.2	0.1	-0.1
宗谷	292	332	323	321	288	1.9	-0.6	-11.1	-0.0	-0.3
オホーツク	867	888	859	940	963	6.4	9.5	2.5	0.6	0.2
十勝	1,139	1,079	876	1,089	1,258	8.4	24.3	15.6	1.6	1.2
釧路	659	678	597	641	603	4.0	7.3	-6.0	0.3	-0.3
根室	334	347	283	348	323	2.2	23.2	-7.2	0.5	-0.2
全道	13,472	14,126	13,373	14,125	14,985	100.0	5.6	6.1	5.6	6.1

建設業の振興局別総生産の全道シェア(単位:%)



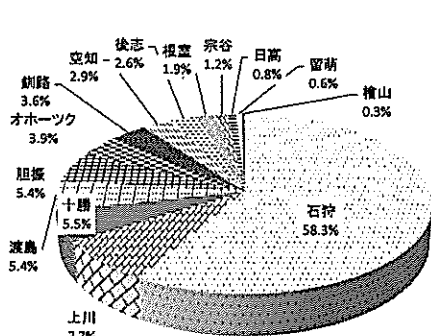
⑤ 卸売・小売業

- 卸売・小売業の振興局別総生産をみると、石狩が1兆3,986億円で最も多く、全体の58.3%を占め、次いで上川1,856億円、十勝1,311億円、渡島1,302億円、胆振1,299億円と上位5振興局で1兆9,754億円、全体の82.4%を占めた。
- 卸売・小売業総生産の全道増加率(▲1.2%)に対する寄与度をみると、石狩(0.3%)、根室(0.0%)がプラスとなったが、他の振興局はマイナスとなった。

卸売・小売業の振興局別総生産 (単位:億円、%)

振興局	実数					29年度 (2017) 構成比	対前年度増加率		対前年度増加寄与度	
	25年度 2013	26年度 2014	27年度 2015	28年度 2016	29年度 2017		28年度 2016	29年度 2017	28年度 2016	29年度 2017
空知	825	785	776	737	695	2.9	-5.1	-5.7	-0.2	-0.2
石狩	12,888	12,826	13,772	13,917	13,986	58.3	1.1	0.5	0.6	0.3
後志	661	643	655	639	619	2.6	-2.5	-3.1	-0.1	-0.1
胆振	1,365	1,329	1,366	1,336	1,299	5.4	-2.2	-2.7	-0.1	-0.2
日高	196	192	195	191	187	0.8	-2.1	-2.5	-0.0	-0.0
渡島	1,404	1,358	1,387	1,348	1,302	5.4	-2.8	-3.4	-0.2	-0.2
檜山	79	75	73	68	64	0.3	-6.2	-6.7	-0.0	-0.0
上川	1,982	1,928	1,969	1,918	1,856	7.7	-2.6	-3.2	-0.2	-0.3
留萌	148	143	144	139	134	0.6	-3.3	-3.9	-0.0	-0.0
宗谷	310	301	307	299	289	1.2	-2.6	-3.2	-0.0	-0.0
オホーツク	1,082	1,032	1,031	984	934	3.9	-4.6	-5.2	-0.2	-0.2
十勝	1,445	1,394	1,413	1,366	1,311	5.5	-3.4	-4.0	-0.2	-0.2
釧路	939	906	823	894	861	3.6	-3.1	-3.7	-0.1	-0.1
根室	420	420	444	447	447	1.9	0.7	0.2	0.0	0.0
全道	23,743	23,333	24,456	24,283	23,984	100.0	-0.7	-1.2	-0.7	-1.2

卸売・小売業の振興局別総生産の全道シェア(単位:%)



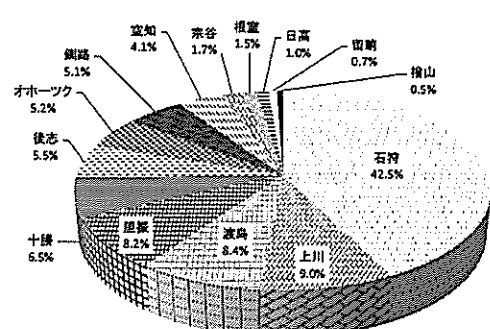
⑥ 宿泊・飲食サービス業

- 宿泊・飲食サービス業の振興局別総生産をみると、石狩が2,335億円で最も多く、全体の42.5%を占め、次いで上川493億円、渡島460億円、胆振451億円、十勝354億円と上位5振興局で4,093億円、全体の74.6%を占めた。
- 宿泊・飲食サービス業の総生産の全道増加率(2.3%)に対する寄与度をみると、石狩(1.0%)、次いで後志、胆振、渡島、十勝、釧路(各0.2%)など、檜山を除く13振興局がプラスとなった。

宿泊・飲食サービス業の振興局別総生産 (単位:億円、%)

振興局	実数					29年度 (2017) 構成比	対前年度増加率		対前年度増加寄与度	
	25年度 2013	26年度 2014	27年度 2015	28年度 2016	29年度 2017		28年度 2016	29年度 2017	28年度 2016	29年度 2017
空知	215	213	203	222	226	4.1	9.5	1.6	0.4	0.1
石狩	2,166	2,164	2,067	2,280	2,335	42.5	10.3	2.4	4.4	1.0
後志	263	258	263	296	304	5.5	12.5	2.9	0.7	0.2
胆振	407	398	397	442	451	8.2	11.3	2.1	0.9	0.2
日高	50	48	48	53	54	1.0	10.8	1.8	0.1	0.0
渡島	413	406	403	449	460	8.4	11.3	2.4	0.9	0.2
檜山	28	27	27	29	29	0.5	9.3	-0.3	0.1	-0.0
上川	464	454	442	486	493	9.0	9.9	1.4	0.9	0.1
留萌	39	38	37	40	40	0.7	9.3	0.3	0.1	0.0
宗谷	85	81	82	91	92	1.7	10.6	0.9	0.2	0.0
オホーツク	266	260	256	283	288	5.2	10.4	1.6	0.6	0.1
十勝	312	311	307	343	354	6.5	11.8	3.2	0.7	0.2
釧路	247	246	244	272	281	5.1	11.8	3.1	0.6	0.2
根室	74	73	72	80	82	1.5	11.3	2.3	0.2	0.0
全道	5,029	4,977	4,849	5,357	5,489	100.0	10.7	2.3	10.7	2.3

宿泊・飲食サービス業の振興局別総生産の全道シェア(単位:%)



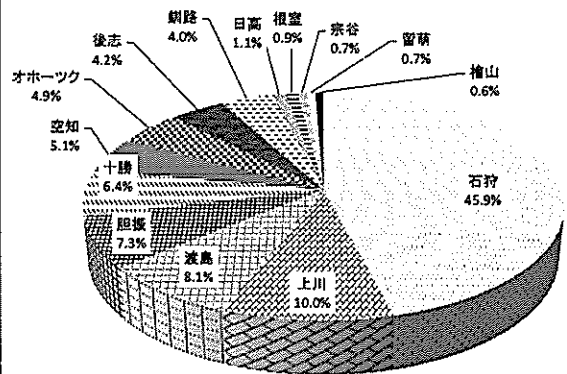
⑦ 保健衛生・社会事業

- 保健衛生・社会事業の振興局別総生産をみると、石狩が8,792億円で最も多く、全体の45.9%を占め、次いで上川1,911億円、渡島1,556億円、胆振1,391億円、十勝1,230億円と上位5振興局で1兆4,880億円、全体の77.7%を占めた。
- 保健衛生・社会事業の全道増加率(1.0%)に対する寄与度をみると、石狩(0.7%)が最も大きくプラスとなった。

保健衛生・社会事業の振興局別総生産 (単位:億円、%)

振興局	業 数					29年度 (2017) 構成比	対前年度増加率		対前年度増加寄与度	
	25年度 2013	26年度 2014	27年度 2015	28年度 2016	29年度 2017		28年度 2016	29年度 2017	28年度 2016	29年度 2017
空知	987	966	984	982	977	5.1	-0.2	-0.5	-0.0	-0.0
石狩	8,196	8,182	8,511	8,664	8,792	45.9	1.8	1.5	0.8	0.7
後志	811	798	817	818	812	4.2	0.1	-0.7	0.0	-0.0
胆振	1,385	1,360	1,391	1,394	1,391	7.3	0.2	-0.2	0.0	-0.0
日高	199	198	203	204	206	1.1	0.7	0.9	0.0	0.0
渡島	1,429	1,433	1,493	1,528	1,556	8.1	2.3	1.8	0.2	0.1
檜山	106	108	111	115	116	0.6	3.3	1.5	0.0	0.0
上川	1,877	1,852	1,895	1,909	1,911	10.0	0.7	0.1	0.1	0.0
留萌	122	122	123	125	125	0.7	1.2	0.2	0.0	0.0
宗谷	133	133	136	138	140	0.7	1.5	0.8	0.0	0.0
オホーツク	945	930	947	948	946	4.9	0.1	-0.2	0.0	-0.0
十勝	1,130	1,132	1,178	1,205	1,230	6.4	2.2	2.1	0.1	0.1
釧路	727	724	750	763	773	4.0	1.8	1.3	0.1	0.1
根室	147	149	155	161	166	0.9	3.8	2.9	0.0	0.0
全道	18,194	18,089	18,695	18,954	19,141	100.0	1.4	1.0	1.4	1.0

保健衛生・社会事業の振興局別総生産の全道シェア



(3) 振興局別総生産の主な増減項目

振興局	総生産(億円)		対前年度 増加率(%)	総生産の主な増減項目
	28年度 2016	29年度 2017		
空知	9,247	9,512	2.9	情報通信業や卸売・小売業などで減少したが、農林水産業や建設業などで増加したことから、全体としてプラスとなった。
石狩	85,120	86,747	1.9	製造業や情報通信業などで減少したが、建設業や電気・ガス・水道・廃棄物処理業などで増加したことから、全体としてプラスとなった。
後志	6,972	7,085	1.6	卸売・小売業や金融・保険業などで減少したが、建設業や電気・ガス・水道・廃棄物処理業などで増加したことから、全体としてプラスとなった。
胆振	16,560	16,687	0.8	建設業や卸売・小売業などで減少したが、運輸・郵便業や電気・ガス・水道・廃棄物処理業などで増加したことから、全体としてプラスとなった。
日高	2,447	2,573	5.2	卸売・小売業などで減少したが、建設業や農林水産業などで増加したことから、全体としてプラスとなった。
渡島	12,644	12,867	1.8	農林水産業や卸売・小売業などで減少したが、建設業や製造業などで増加したことから、全体としてプラスとなった。
檜山	1,178	1,199	1.8	卸売・小売業や金融・保険業などで減少したが、専門・科学技術、業務支援サービス業や電気・ガス・水道・廃棄物処理業などで増加したことから、全体としてプラスとなった。
上川	16,186	16,394	1.3	情報通信業や卸売・小売業などで減少したが、農林水産業や電気・ガス・水道・廃棄物処理業などで増加したことから、全体としてプラスとなった。
留萌	1,653	1,674	1.3	情報通信業や建設業などで減少したが、農林水産業や専門・科学技術、業務支援サービス業などで増加したことから、全体としてプラスとなった。
宗谷	2,885	2,909	0.9	建設業や卸売・小売業などで減少したが、運輸・郵便業や農林水産業などで増加したことから、全体としてプラスとなった。
オホーツク	10,921	10,931	0.1	製造業や卸売・小売業などで減少したが、電気・ガス・水道・廃棄物処理業や農林水産業などで増加したことから、全体としてプラスとなった。
十勝	13,026	13,444	3.2	情報通信業や製造業などで減少したが、建設業や農林水産業などで増加したことから、全体としてプラスとなった。
釧路	8,400	8,431	0.4	情報通信業や建設業などで減少したが、電気・ガス・水道・廃棄物処理業や農林水産業などで増加したことから、全体としてプラスとなった。
根室	3,835	3,848	0.3	製造業や建設業などで減少したが、専門・科学技術、業務支援サービス業や金融・保険業などで増加したことから、全体としてプラスとなった。